



福島医発第416号(地)
平成24年 5月10日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻 一 良
(公 印 省 略)

第17回日本難病看護学会学術集会開催について

日本難病看護学会は、前身の日本難病看護研究会から通算して34年の歴史をもつ学会です。研究会の発足当初、在宅医療はまだ制度化されていませんでしたが、そのなかで、研究室の諸先輩方と全国各地の看護職の方々は、医師等と協働し、当事者の方々とともに在宅医療のあり方を考え、先駆的な実践活動を研究としてまとめ、今の在宅医療の基盤を創ってられました。

そして、国の制度として在宅医療が創られ、推進されるようになった現在、多くの方々が難病をもちながらも、凛としてその方らしい闘病をしてくださっています。しかし同時に、それらの方々の“生きること”、を支えるための在宅医療・生活支援をめぐる様々な課題が噴出しています。現在、「在宅医療」がひとつの大きな“ふしめ”のときを迎えています。

そこで、この度、本年度の標記研修会を下記のとおり開催する旨、第17回日本難病看護学会学術集会大会長より別紙のとおり通知がありましたので、お知らせいたします。

つきましては、本学術集会について、貴会会員への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、

- 1) 参加希望者は、TEL(03-6834-2290)にて第17回日本難病看護学会学術集会事務局へ直接お申込みいただきますようお願いいたします。
- 2) 第17回日本難病看護学会学術集会の演題募集を行っております。ご登録いただく方は、平成24年5月31日(木)までに学術集会事務局(e-mail: nanbyo-gaku-17th@igakuken.or.jp)に直接ご連絡いただきますようお願いいたします。

記

△と	き	平成24年8月31日(金)～9月1日(土)
△と	こ	セシオン杉並(杉並区梅里1-22-32)
△内	容	別紙のとおり ※詳細は、学術集会事務局までご連絡下さい。
△事前参加登録期間		平成24年4月2日(月)～7月31日(火)

小郡三井医師会より

学術・生涯教育担当理事 権藤秀之
地域保健担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

△参加費

*事前参加登録

学会員 5,000 円 非学会員 6,000 円

療養者・ご家族・学生 2,000 円

*当日参加

学会員 6,000 円 非学会員 7,000 円

療養者・ご家族・学生 2,000 円

△申込・問合せ先

第17回日本難病看護学会学術集会事務局

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6

東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室

TEL : 03-6834-2290 FAX : 03-6834-2291

平成 24 年 4 月吉日

関係機関・関係団体 各位

第 17 回日本難病看護学会学術集会開催について

拝啓 平素より格別のご高配をたまわり厚く御礼申し上げます。

日本難病看護学会は、前身の日本難病看護研究会から通算して 34 年の歴史をもつ学会です。研究会の発足当初、在宅医療はまだ制度化されていませんでしたが、そのなかで、研究室の諸先輩方と全国各地の看護職の方々は、医師等と協働し、当事者の方々とともに在宅医療のあり方を考え、先駆的な実践活動を研究としてまとめ、今の在宅医療の基盤を創ってこられました。

そして、国の制度として在宅医療が創られ、推進されるようになった現在。多くの方々が難病をもちながらも、凜としてその方らしい闘病をしてくださっています。しかし同時に、それらの方々の“生きること”、を支えるための在宅医療・生活支援をめぐる様々な課題が噴出しています。現在、「在宅医療」がひとつの大きな“ふしめ”のときを迎えています。

そこで、学術集会のテーマを“療養の安全・安心をまもる看護”としました。在宅医療・療養において、看護職が果たすべき役割と責任、について考え、当事者の方々にその成果を届けるためのひとつのステップとしたいと思います。

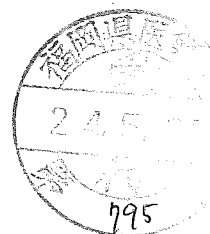
訪問看護ステーション、保健所、訪問介護事業所、医療機関、教育研究機関に所属する専門職のみなさま、そして療養者・ご家族のみなさま。ぜひご参加ください。

敬具

第 17 回日本難病看護学会学術集会
大会長 小倉 朗子

＊本件に関する連絡先＊

第 17 回日本難病看護学会学術集会事務局
〒156-8506 東京都世田谷区上北沢 2-1-6
東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室
電話 03-6834-2290/FAX03-6834-2291



第17回日本難病看護学会学術集会

療養の安全・安心をまもる看護

大会長 公益財団法人東京都医学総合研究所 小倉 朗子

2012年 8月31日（金）～9月1日（土）

セッション杉並（杉並区梅里1-22-32）

<内容>

○8月31日

◇シンポジウム◇ 「安全を推進する在宅看護」

◇会長講演◇ 「療養の安全・安心をまもる看護」

○9月1日

◇特別講演◇ 「難病のケアシステム創設の歴史と現在の在宅ケアの課題」

◇小学生向け特別企画◇ 10:00 共催：東京都医学総合研究所
「みんなのからだ“つたえる”しくみをしよう」

◇公開リレートーク◇ 10:00 共催：東京都医学総合研究所
「在宅医療・難病看護のこれから」

◇公開シンポジウム◇ 14:30 共催：東京都医学総合研究所
「地域で安心してくらすためにー東日本大震災から学んだことー」

○8月31日～9月1日

◇教育セミナー◇ 「看護のための神経難病寺子屋」